

平成29年度

# 武蔵野市予算の概要

一人ひとりを大切に 多様性を力に平和と自治をはぐくむ予算

平成29年2月

武蔵野市



# 目 次

1	編成方針	1
2	予算のポイント	1
3	予算規模	2
	(1)一般会計予算規模	2
	(2)会計別予算規模	3
	(3)水道事業会計予算規模	5
4	予算の状況（一般会計）	6
	(1)歳入の概要	6
	(2)歳出の概要	10
	(3)基金と市債	14
5	複数年度にわたる建設事業	16
6	特徴ある事業	20
	市制施行70周年記念事業	21
	オリンピック・パラリンピックに向けて	23
	I 健康・福祉	25
	II 子ども・教育	29
	III 文化・市民生活	34
	IV 緑・環境	40
	V 都市基盤	43
	VI 行・財政	46

## 1 編成方針

平成29年度予算は、「一人ひとりを大切に 多様性を力に平和と自治をはぐくむ予算」と位置付け、第五期長期計画・調整計画の2年目として各分野の施策を着実に推進するとともに、新たな課題にも対応しながら持続可能な市政運営を行っていくため、限られた財源を重点的かつ効率的に配分することを基本に予算を編成した。

また、効率的な行政経営により健全な財政運営を維持するため、事務事業及び補助金の見直しや政策再編を継続的に実施したほか、経常経費は前年度予算額を上限とする予算配分により経費の節減を行った。

## 2 予算のポイント

### 市制施行70周年記念事業

### オリンピック・パラリンピックに向けて

#### I 健康・福祉

旧山崎邸活用事業 / 高齢者・障害者施設の防犯対策の充実  
障害者支援施設の開設支援 / 妊娠から子育て期の切れ目のない支援

#### II 子ども・教育

保育所待機児童解消と幼児期の教育の充実 / ファミリー・サポート・センター事業  
放課後等子ども施策事業 / 高等学校等修学支援 / 小中学校ICT機器の活用・整備

#### III 文化・市民生活

文化振興基本方針（仮称）策定 / 吉祥寺図書館リニューアル  
井の頭恩賜公園開園100周年記念事業 / 平和啓発事業 / 建築物の耐震化への助成

#### IV 緑・環境

緑と水のネットワーク事業 / エネルギー地産地消都市の構築  
武蔵野クリーンセンター建設事業 / クリーンセンター新施設からの熱源活用

#### V 都市基盤

浸水対策と地下水への涵養 / 吉祥寺グランドデザイン改定  
三鷹駅北口周辺の駐輪場再編 / 武蔵境市政センター移転 / 自転車走行環境づくり

#### VI 行・財政

自治基本条例（仮称）の検討 / 住民票・税証明等のコンビニ交付の開始

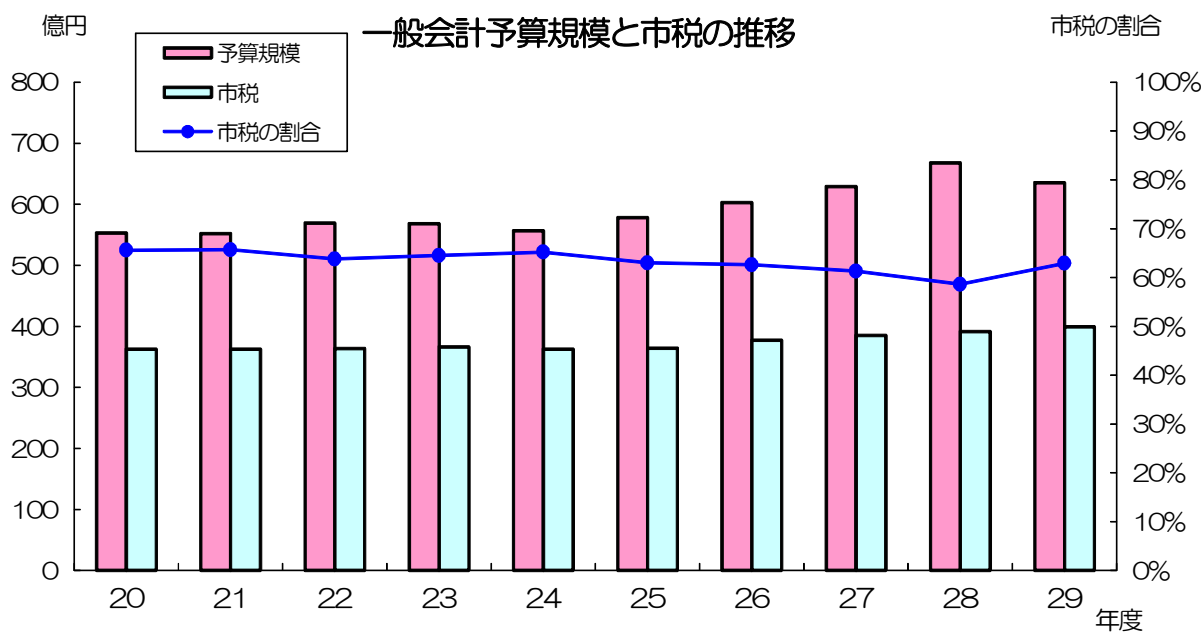
### 3 予算規模

一般会計の予算規模は、保育所待機児童対策や障害者自立支援給付等事業などの社会保障関係予算の増があるものの、市民文化会館改修事業や武蔵野クリーンセンター建設事業などの減により、前年度に比べ4.8%、32億1,800万円減の総額635億4,800万円となった。

#### (1) 一般会計予算規模

(単位：千円)

	平成 29 年度	平成 28 年度	比 較	増減率(%)	
				29 年度	28 年度
一般会計	63,548,000	66,766,000	△ 3,218,000	△4.8	6.2



(単位：百万円)

年度	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29
予算規模	55,280	55,200	56,940	56,830	55,650	57,790	60,260	62,878	66,766	63,548
伸び率	△ 2.9	△ 0.1	3.2	△ 0.2	△ 2.1	3.8	4.3	4.3	6.2	△ 4.8
市 税	36,268	36,257	36,341	36,622	36,262	36,407	37,708	38,517	39,124	39,942
伸び率	△ 1.1	0.0	0.2	0.8	△ 1.0	0.4	3.6	2.1	1.6	2.1
市税の割合	65.6%	65.7%	63.8%	64.4%	65.2%	63.0%	62.6%	61.3%	58.6%	62.9%

## 【主な増減内容】

- 増**
- 保育所待機児童対策
  - 障害者自立支援給付等事業
  - 総合体育館及び陸上競技場改修工事

- 減**
- 市民文化会館改修事業
  - 武蔵野クリーンセンター建設事業
  - 緊急輸送道路沿道建築物耐震化助成金

## （２）会計別予算規模

一般会計に特別会計を合わせた武蔵野市全体の予算規模は、総計で961億5,900万円、一般会計から特別会計への繰出金及び特別会計から一般会計への繰出金を除いた純計では901億3,800万円となった。

(単位：千円)

区 分	平成 29 年度	平成 28 年度	比較	増減率 (%)	
				29 年度	28 年度
一 般 会 計	63,548,000	66,766,000	△ 3,218,000	△ 4.8	6.2
下 水 道 事 業 会 計	2,816,710	4,352,919	△ 1,536,209	△ 35.3	38.5
国民健康保険事業会計	15,296,776	15,270,549	26,227	0.2	0.4
後期高齢者医療会計	3,500,496	3,398,969	101,527	3.0	0.8
介護保険事業会計	10,997,059	10,538,802	458,257	4.3	△ 0.5
総 計	96,159,041	100,327,239	△ 4,168,198	△ 4.2	5.4
純 計	90,137,509	94,030,048	△ 3,892,539	△ 4.1	5.3

## 【参考】

(単位：億円)

区 分	平成 29 年度	平成 28 年度	比較	増減率 (%)	
				29 年度	28 年度
国 の 一 般 会 計	974,547	967,218	7,329	0.8	0.4
東京都の一般会計	69,540	70,110	△ 570	△ 0.8	0.8

## 【特別会計の主な増減理由】

### 下水道事業会計

予算額は28億1,700万円で、前年度比35.3%、15億3,600万円の減となった。

歳入では、下水道建設事業費の減に伴う国庫・都支出金及び市債の減を見込んだ。歳出では、下水道総務費で浸水対策事業費や臭気抑制対策助成金の増を見込んだが、石神井川排水区雨水排水幹線整備事業などの事業費の減により下水道建設費が大きく減となった。

### 国民健康保険事業会計

予算額は152億9,700万円で、前年度比0.2%、2,600万円の増となった。

被保険者数の減を見込み、歳入では保険税、歳出では保険給付費が減少した。また、保険財政共同安定化事業、高額医療費共同事業の対象医療費の増加に伴い、歳入の共同事業交付金、歳出の共同事業拠出金がともに増加した。

### 後期高齢者医療会計

予算額は35億円で、前年度比3.0%、1億200万円の増となった。

被保険者数及び一人当たりの給付費の増を見込み、歳入では保険料、歳出では後期高齢者医療広域連合に対する負担金が増加した。

### 介護保険事業会計

予算額は109億9,700万円で、前年度比4.3%、4億5,800万円の増となった。

被保険者数の増を見込み、歳入の保険料が増加した。また、介護認定者数の増及び市内の特別養護老人ホーム新規開設などに伴う介護給付の増を見込み、歳入では国庫・都支出金における介護給付費負担金、支払基金交付金、歳出では保険給付費が増加した。

### (3) 水道事業会計予算規模

業務予定量は、給水栓数 8 万 8,100 栓、年間総給水量 1,759 万 8,297 立方メートル、1 日平均給水量は、4 万 8,215 立方メートルとした。

収益的収入は水道事業収益 37 億 5,700 万円で、主なものは給水収益 34 億 7,900 万円と見込んだ。収益的支出は水道事業費 36 億 4,700 万円で、主なものは原水及び浄水費の中の受水費 15 億 700 万円と見込んだ。収益的収入から収益的支出を差引いた純利益は 1 億 1,000 万円を見込んだ。

資本的収入は 1,300 万円を見込んだ。資本的支出 8 億 4,300 万円の主なものは、配水施設費 3 億 5,800 万円、原水及び浄水施設改良工事費 1 億 1,800 万円で、配水管の新設工事を 320 メートル、古い鑄鉄管の改良工事を 250 メートル、配水補助管の改良工事を 1,250 メートル行い、その結果、水道管の耐震化率は 46.7% となる見込みである。資本的収入から資本的支出を差引いた 8 億 3,000 万円の不足額は、消費税及び地方消費税資本的収支調整額、損益勘定留保資金、減債積立金で補填する予定である。

(単位：千円)

区 分	平成 29 年度	平成 28 年度	比 較	増減率 (%)	
				29 年度	28 年度
収益的収入	3,756,987	3,756,521	466	0.0	△ 0.4
収益的支出	3,646,662	3,620,333	26,329	0.7	△ 0.0
資本的収入	12,985	35,818	△ 22,833	△ 63.7	△ 67.0
資本的支出	843,357	900,161	△ 56,804	△ 6.3	△ 12.1



## 4 予算の状況（一般会計）

### （1）歳入の概要

- 市税については、納税義務者数の増加や給与所得控除の見直しの影響による個人市民税の増や、法人市民税、固定資産税、軽自動車税、都市計画税などにおける課税の状況から、各税目も増加すると見込み、前年度に比べ8億1,800万円（2.1%）の増となった。
- 国庫支出金については、武蔵野クリーンセンター建設事業に対する補助金の減などにより、前年度に比べ11億4,600万円（12.2%）の減となった。
- 市債については、市民文化会館改修事業、武蔵野クリーンセンター建設事業に対する借入の減などにより、前年度に比べ20億400万円（83.4%）の減となった。

区 分 (款)	平成 29 年度 予算額 (A)	平成 28 年度 予算額 (B)	比 較 (C)=(A)-(B)	増減率(%) (C) / (B)	構成比率(%)	
					29 年度	28 年度
1 市 税	39,941,540	39,123,900	817,640	2.1	62.9	58.6
2 地方譲与税	175,000	149,000	26,000	17.4	0.3	0.2
3 利子割交付金	64,000	80,000	△ 16,000	△ 20.0	0.1	0.1
4 配当割交付金	238,000	480,000	△ 242,000	△ 50.4	0.4	0.7
5 株式等譲渡所得割交付金	162,000	200,000	△ 38,000	△ 19.0	0.3	0.3
6 地方消費税交付金	3,133,000	3,046,000	87,000	2.9	4.9	4.6
7 自動車取得税交付金	78,001	55,001	23,000	41.8	0.1	0.1
8 地方特例交付金	30,000	30,000	0	0.0	0.0	0.1
9 地方交付税	100	100	0	0.0	0.0	0.0
10 交通安全対策特別交付金	15,000	15,000	0	0.0	0.0	0.0
11 分担金及び負担金	492,817	407,720	85,097	20.9	0.8	0.6
12 使用料及び手数料	1,620,765	1,592,736	28,029	1.8	2.6	2.4
13 国庫支出金	8,225,387	9,371,620	△ 1,146,233	△ 12.2	12.9	14.0
14 都 支 出 金	6,503,692	5,918,255	585,437	9.9	10.2	8.9
15 財 産 収 入	77,570	92,013	△ 14,443	△ 15.7	0.1	0.1
16 寄 附 金	100	100	0	0.0	0.0	0.0
17 繰 入 金	1,198,900	2,694,672	△ 1,495,772	△ 55.5	1.9	4.0
18 繰 越 金	700,000	700,000	0	0.0	1.1	1.1
19 諸 収 入	492,128	405,883	86,245	21.2	0.8	0.6
20 市 債	400,000	2,404,000	△ 2,004,000	△ 83.4	0.6	3.6
合 計	63,548,000	66,766,000	△ 3,218,000	△ 4.8	100.0	100.0

## ○ 市税の状況

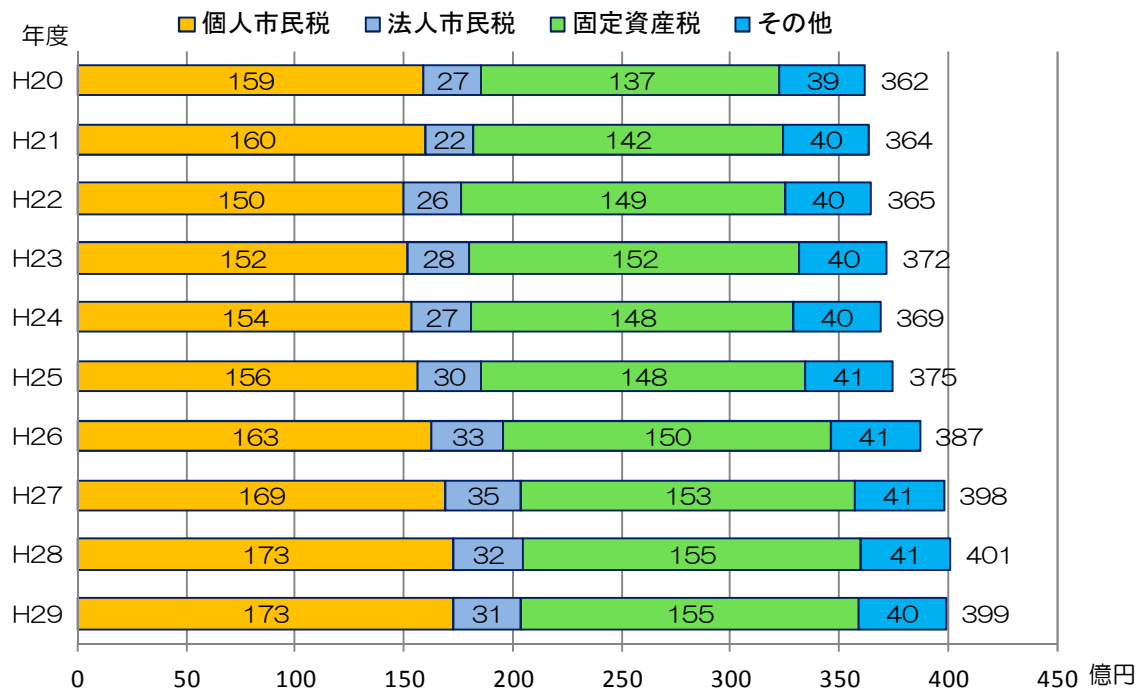
平成29年度の市税収入は399億4,200万円、前年度当初予算額に比べ8億1,800万円（2.1%）の増となった。

個人市民税は、納税義務者数の増や給与所得控除の見直しなどにより、増額を見込む。法人市民税は、税制改正による税率の引き下げの影響があるものの、市内企業の業績が上向いていることから増を見込む。固定資産税は、土地及び償却資産については大幅な増は見込めないが、家屋についてはマンションや新築家屋の建設状況などから増を見込んでおり、固定資産税全体では増を見込んでいる。

（単位：千円）

区分（税目）	平成29年度 予算額	平成28年度 予算額	比較	前年比（%）	
				29年度	28年度
市民税 個人	17,265,850	16,846,500	419,350	2.5	3.6
市民税 法人	3,111,650	2,826,000	285,650	10.1	△7.5
固定資産税	15,502,845	15,352,400	150,445	1.0	1.6
軽自動車税	48,350	42,200	6,150	14.6	19.9
市たばこ税	903,000	950,000	△47,000	△4.9	△1.1
事業所税	596,000	604,000	△8,000	△1.3	△2.7
都市計画税	2,513,845	2,502,800	11,045	0.4	1.3
合計	39,941,540	39,123,900	817,640	2.1	1.6

## 市税額の推移



※平成27年度までは決算額、平成28年度は決算見込額、平成29年度は予算額である。

## ○ 消費税率の改定及び地方消費税交付金について

消費税は平成26年1月に5%から8%に引き上げられた際に、その引き上げによって生じた地方消費税収については、社会保障施策の安定・充実に要する経費に充てることとされている。

平成29年度における地方消費税交付金の社会保障財源化分は13億5,000万円であり、以下の社会保障施策へ充当する。

(単位：千円)

社会保障施策に 要する経費		事業費	財源内訳				
			特定財源			一般財源	
			国都支出金	地方債	その他	社会保障財源 化分の地方消 費税交付金	その他
民生費	障害者 福祉費	5,091,579	2,880,719	0	1,802	380,000	1,829,058
	児童福祉 総務費	2,639,663	961,188	0	313	300,000	1,378,162
	児童処遇費	7,120,950	3,793,570	0	393,501	500,000	2,433,879
衛生費	予防費	1,404,977	52,370	0	240,413	170,000	942,194
合計		16,257,169	7,687,847	0	636,029	1,350,000	6,583,293

障害者福祉費においては、障害者自立支援給付等事業や障害者支援施設開設支援の経費に対して3億8,000万円を充当している。

児童福祉総務費においては、認証保育所等への運営費補助や認可外保育施設入所児童保育補助金に対して、3億円を充当している。

児童処遇費においては、認可保育所、認定こども園、小規模保育施設、家庭的保育の運営経費などの保育所等運営委託・給付事業の経費に対して5億円を充当している。

予防費においては、B型肝炎定期接種などの予防接種事業の経費や、子宮がん検診などの老・成人保健事業の経費に対して1億7,000万円を充当している。

## 【その他の主な費目の増減内容】

### 利子割交付金

利子等に対する課税の都税分のうち概ね3/5が個人都民税の収入率の割合で都から交付されるもの。

金融機関等から支払いを受ける預貯金等の利子に対して都道府県民税として課税される利子割課税のうち、概ね3/5が東京都より交付されている。日銀のマイナス金利政策導入による金利低下等の影響が続くと見込み、1,600万円、20.0%の減とした。

### 配当割交付金

個人が支払を受ける上場株式等の配当金や公募証券投資信託の収益の分配金等に対する課税の都税分のうち概ね3/5が個人都民税の収入率の割合で都から交付されるもの。

個人が支払を受ける上場株式等の配当金や公募証券投資信託の収益の分配金等に対して都道府県民税として課税される配当割課税のうち、概ね3/5が東京都より交付されている。平成28年1月1日より特定公社債等の利子等が利子割から配当割に移行した制度改正による影響を平成28年度実績に基づき精査したため、前年度に比べて2億4,200万円、50.4%の減とした。

### 国庫支出金

国から市への支出金で、法令により負担義務を負う負担金、奨励的、財政援助的に交付される補助金、本来国が行う事務を便宜上行った場合の委託金がある。

保育所等整備交付金、臨時福祉給付金給付事業費負担金、保育所等運営費負担金等の増があるものの、循環型社会形成推進交付金、保育所緊急整備事業補助金、学校施設環境改善交付金などの減により、11億4,600万円、12.2%の減となった。

### 都支出金

都から市への支出金で、国庫支出金同様、負担金、補助金、委託金がある。

緊急輸送道路沿道建築物耐震化補助金の減はあるものの、待機児童解消区市町村支援事業補助金、保育所等運営費負担金、学童クラブ事業補助金などの増により、5億8,500万円、9.9%の増となった。

### 繰入金

市の貯金である基金から取り崩して事業に充てる基金繰入金と、特別会計から入る特別会計繰入金がある。

市民文化会館改修事業、武蔵野クリーンセンター建設事業などの事業費の減により、公共施設整備基金繰入金が大幅に減となり、14億9,600万円、55.5%の減となった。公共施設整備基金は、コミュニティセンターや総合体育館の改修工事等の財源に充当している。

## (2) 歳出の概要

- 目的別分類では、総務費が主に市民文化会館改修事業の減により16.2%の減となり、衛生費は武蔵野クリーンセンター建設事業の減により37.7%の減となった。一方、民生費は歳出全体の45.0%となり、前年度に比べ12億5,700万円、4.6%の増、教育費は17.2%の増となった。
- 性質別分類では、小中学校におけるICT環境の整備や学童クラブとあそべえ事業の委託化等により、物件費が前年度比8.1%の増、保育所待機児童対策や障害者自立支援給付等事業などの扶助費は5.5%の増となった。

### ① 目的別分類

目的別分類は、歳出をその行政目的に応じて区分するもので、予算の「款」を基準としている。

(単位：千円)

区 分 (款)	平成 29 年度 予算額 (A)	平成 28 年度 予算額 (B)	比較 (C)=(A)-(B)	増減率 (%) (C)/(B)	構成比率 (%)	
					29 年度	28 年度
1 議 会 費	469,048	469,765	△717	△0.2	0.7	0.7
2 総 務 費	9,569,283	11,414,542	△1,845,259	△16.2	15.1	17.1
3 民 生 費	28,380,645	27,123,861	1,256,784	4.6	44.7	40.6
4 衛 生 費	5,918,187	9,496,108	△3,577,921	△37.7	9.3	14.2
5 労 働 費	38,191	34,395	3,796	11.0	0.1	0.1
6 農 業 費	106,091	78,665	27,426	34.9	0.2	0.1
7 商 工 費	528,492	500,810	27,682	5.5	0.8	0.8
8 土 木 費	6,086,629	6,408,169	△321,540	△5.0	9.6	9.6
9 消 防 費	2,154,963	2,106,487	48,476	2.3	3.4	3.2
10 教 育 費	8,246,962	7,033,852	1,213,110	17.2	13.0	10.5
11 公 債 費	1,877,084	1,914,908	△37,824	△2.0	2.9	2.9
12 諸 支 出 金	72,425	84,438	△12,013	△14.2	0.1	0.1
13 予 備 費	100,000	100,000	0	0.0	0.1	0.1
合 計	63,548,000	66,766,000	△3,218,000	△4.8	100.0	100.0

### 【主な費目の増減内容】

#### 総 務 費

庁舎管理、戸籍、統計、徴税、選挙、職員に要する経費など市の全般的な管理に必要な経費

普通財産土地購入費11億9,100万円、庁舎改修工事1億300万円、コミュニティセンター施設改修工事8,000万円の増などがあるものの、市民文化会館改修工事及び工事監理委託32億7,700万円、庁舎電気料7,300万円などの減により、18億4,500万円、16.2%の減となった。

## 民 生 費

社会福祉、児童福祉、生活保護など、一定水準の生活を保障するために必要な経費

国民健康保険事業会計繰出金 2 億 2,400 万円、旧くぬぎ園解体工事 1 億 9,100 万円、生活保護法による扶助事業 1 億 1,400 万円などの減があるものの、民間認可保育所施設整備補助金 3 億 6,900 万円、民間認可保育所運営委託 2 億 2,100 万円、障害者自立支援給付等事業 2 億 3,000 万円などの増により、12 億 5,700 万円、4.6%の増となった。

## 衛 生 費

保健衛生や環境対策、ごみ処理などに必要な経費

P C B 廃棄物調査・計測・廃棄業務委託 6,800 万円、個別予防接種委託料 3,500 万円などの増があるものの、武蔵野クリーンセンター建設事業 37 億円、保健センター改修工事 2,500 万円などの減により、35 億 7,800 万円、37.7%の減となった。

## 土 木 費

都市計画や道路・公園等の維持・整備などに必要な経費

公園等建設事業土地購入費 3 億 8,100 万円、景観道路事業土地購入費 3 億 6,500 万円の増はあるものの、緊急輸送道路沿道建築物耐震化助成金 6 億 6,900 万円、武蔵境地区区画道路整備事業土地購入費 4 億 1,300 万円、下水道事業会計繰出金 1 億 4,300 万円の減などの減により、3 億 2,200 万円、5.0%の減となった。

## 教 育 費

学校教育や生涯学習などに必要な経費

中学校校舎等改修工事 2 億 3,600 万円、総合体育館電気料 5,800 万円などの減があるものの、陸上競技場改修工事 3 億 5,700 万円、吉祥寺図書館改修工事 3 億 4,500 万円、総合体育館改修工事 3 億 2,500 万円などの増により、12 億 1,300 万円、17.2%の増となった。

## 公 債 費

地方自治体が借り入れた地方債の元金及び利子の償還に要する経費

元金の償還が開始（すくすく泉用地買収、武蔵野クリーンセンター建設事業等）されることによる増があるが、償還終了（境保育園改築、八幡通り公園用地買収等）による減があり、3,800 万円、2.0%の減となった。

## ② 性質別分類

性質別分類は、経済的性質を基準として分類するもので、義務的経費、投資的経費等に分けられる。

(単位：千円)

区分	平成 29 年度 予算額 (A)	平成 28 年度 予算額 (B)	比較 (C)=(A)-(B)	増減率 (%) (C)/(B)	構成比率 (%)		
					29 年度	28 年度	
義務的経費	人件費	9,321,484	9,640,626	△ 319,142	△ 3.3	14.7	14.5
	扶助費	14,604,147	13,843,972	760,175	5.5	23.0	20.7
	公債費	1,877,084	1,914,908	△ 37,824	△ 2.0	2.9	2.9
	小計	25,802,715	25,399,506	403,209	1.6	40.6	38.1
物件費	15,556,407	14,393,179	1,163,228	8.1	24.5	21.6	
補助費等	7,375,636	7,291,650	83,986	1.2	11.6	10.9	
繰出金	5,794,882	6,067,538	△ 272,656	△ 4.5	9.1	9.1	
投資的経費	8,239,944	12,905,327	△ 4,665,383	△ 36.2	13.0	19.3	
その他	778,416	708,800	69,616	9.8	1.2	1.0	
合計	63,548,000	66,766,000	△ 3,218,000	△ 4.8	100.0	100.0	

※ 義務的経費とは、歳出のうち、支出が義務付けられており任意に削減できない経費で、一般的に人件費・扶助費・公債費の合計額をさす。

※ その他には、維持補修費、貸付金、投資及び出資金、積立金、予備費を含む。

### 人 件 費

報酬、給料、職員手当、共済費などの経費

期末勤勉手当1,300万円などの増はあるものの、委員等報酬1億9,700万円、職員共済組合負担金8,200万円、職員給料1,100万円などの減により、3億1,900万円、3.3%の減となった。

### 扶 助 費

生活保護法、児童福祉法、老人福祉法などに基づいて支給する経費

生活保護法による扶助事業1億1,400万円などの減があるものの、民間認可保育所等運営委託・給付事業3億1,100万円、障害者自立支援給付事業2億3,000万円、乳幼児及び義務教育就学児医療費助成事業3,400万円などの増により、7億6,000万円、5.5%の増となった。

### 公 債 費

地方自治体が借り入れた地方債の元金及び利子の償還に要する経費

元金の償還が開始（すくすく泉用地買収、武蔵野クリーンセンター建設事業等）されることによる増があるが、償還終了（境保育園改築、八幡通り公園用地買収等）による減があり、3,800万円、2.0%の減となった。

### 物件費

賃金、旅費、交際費、消耗品費、役務費、備品購入費、委託料、使用料などの経費

武蔵野クリーンセンターの発電による電気料 1 億 5,500 万円の減があるものの、学童クラブ事業運営委託 3 億 4,000 万円、あそべ事業運営委託 1 億 5,500 万円、小中学校における ICT 環境の整備 1 億 6,500 万円などの増により、11 億 6,300 万円、8.1% の増となった。

### 補助費等

市民や各種団体などに対する補助金などの経費

中小規模事業者事業資金利子補給金及び信用保証料補助金 2,000 万円などの減はあるものの、緊急待機児童対策グループ保育室運営費等補助金 8,500 万円、保育従事職員宿舍借り上げ支援事業補助金 8,300 万円、民間住宅耐震化促進事業助成 5,000 万円などの増により、8,400 万円、1.2% の増となった。

### 繰出金

一般会計と特別会計相互間で支出される経費

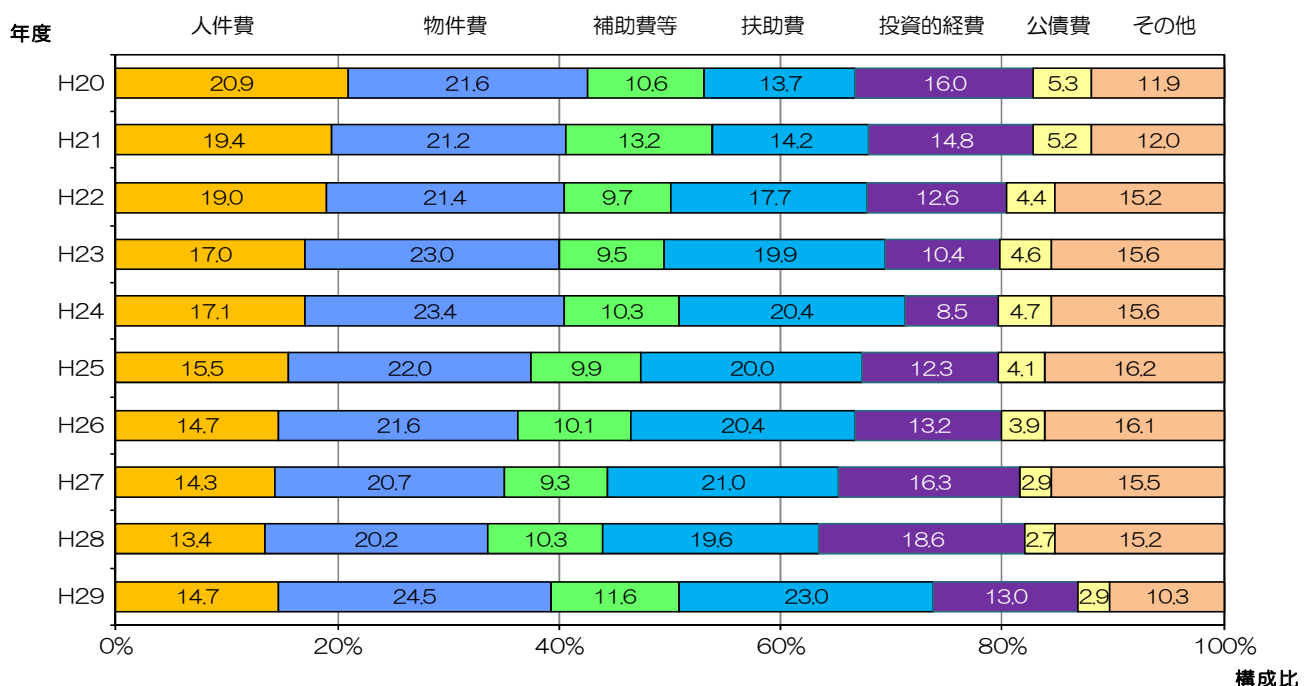
後期高齢者医療会計繰出金 5,200 万円、介護保険事業会計繰出金 4,100 万円の増があるものの、下水道事業会計繰出金 1 億 4,300 万円、国民健康保険事業会計繰出金 2 億 2,400 万円の減により、2 億 7,300 万円、4.5% の減となった。

### 投資的経費

道路、公園、学校、文教施設など公共施設の建設、用地購入等に要する経費

普通財産土地購入費 11 億 9,100 万円、公園等建設事業土地購入費 3 億 8,100 万円などの増はあるものの、武蔵野クリーンセンター建設工事 37 億円、市民文化会館改修工事および工事監理委託 32 億 7,700 万円、緊急輸送道路沿道建築物耐震化助成金 6 億 6,900 万円などの減により、46 億 6,500 万円、36.2% の減となった。

## 性質別の構成比の推移



※平成 27 年度までは決算額、平成 28 年度は決算見込額、平成 29 年度は予算額の構成比である。

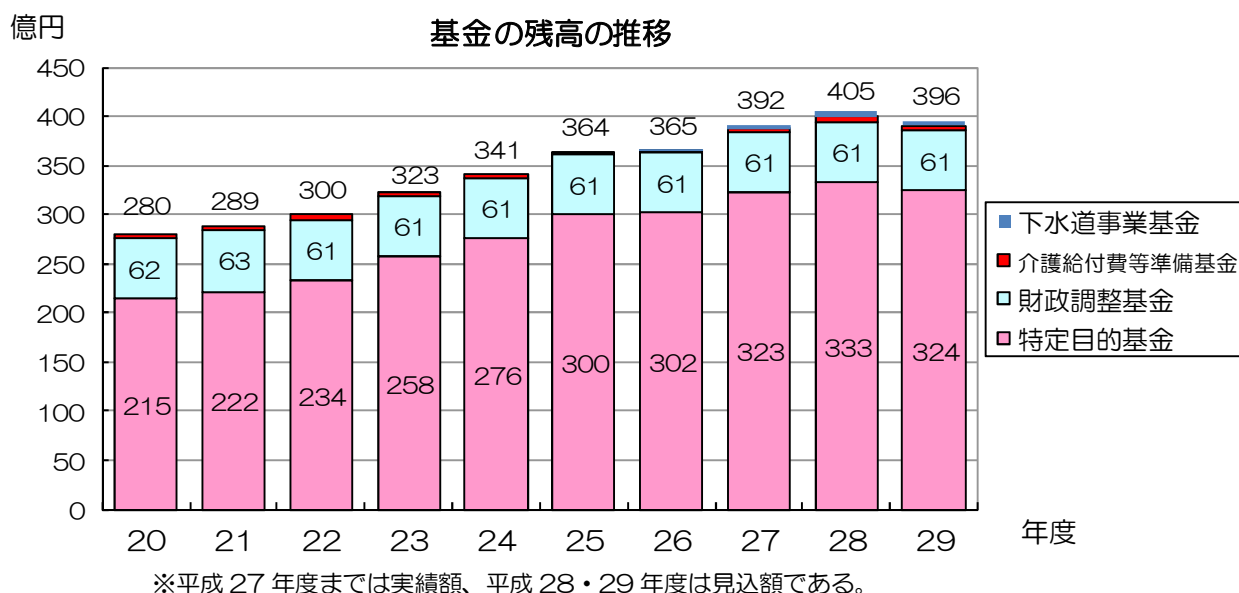


### (3) 基金と市債

#### ○ 基金の状況

公共施設や学校などの整備・更新の財源として活用するため、基金の積み立てや取崩しを行っている。財政調整基金とは、各年度の収支差額の一部を積み立て、年度間の財源調整を図るためのものである。特定目的基金とは、地方自治体が条例の定めるところにより、公共施設の建設など特定の目的のために、財産を維持し、資金を積み立て、または定額の資金を運用するために設けるものである。

平成29年度末の一般会計基金残高は年度末の補正予算の新規積立金を除くと384億7,300万円となり、特別会計をあわせた基金残高は396億3,400万円の見込みとなる。



#### 基金の残高見込み

(単位：千円)

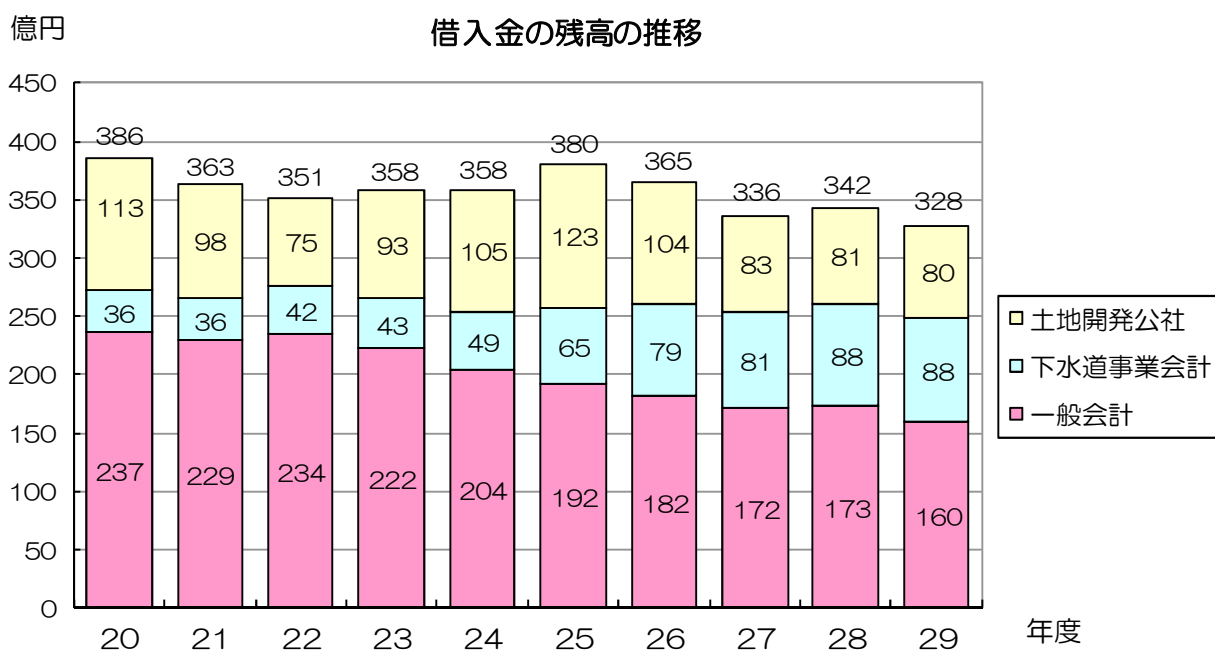
区分	27年度末残高	28年度末残高見込み	29年度末残高見込み	29年度増減見込み	
財政調整基金	6,098,157	6,100,817	6,101,783	966	
特定目的基金	公共施設整備基金	13,056,085	12,762,040	12,252,232	△ 509,808
	学校施設整備基金	9,921,892	10,736,333	10,491,707	△ 244,626
	吉祥寺まちづくり基金	3,514,991	4,018,369	3,942,732	△ 75,637
	公園緑化基金	4,293,409	4,381,168	4,363,312	△ 17,856
	その他の特定目的基金	1,539,637	1,434,794	1,321,628	△ 113,166
一般会計合計	38,424,171	39,433,521	38,473,394	△ 960,127	
下水道事業基金	422,100	562,568	671,257	108,689	
介護給付費等準備基金	350,760	538,934	489,812	△ 49,122	
合計	39,197,031	40,535,023	39,634,463	△ 900,560	

## ○市債の状況

市債とは地方自治体が必要な財源を調達するために負う債務で、その履行が一会計年度を越えて行われるものである。市有施設などの建設にあたり資金の借入れを行い、その後5年から30年かけて返済していくことにより、建設時点の市民だけでなく施設を利用する次の世代の市民にも負担を求めるという観点により、世代間の公平を保つための方法として位置付けられている。

平成29年度末の一般会計市債残高見込みは、前年度から12億7,900万円減少し159億6,600万円となり、うち減税補てん債は15億9,100万円となる。下水道事業会計市債残高見込みは前年度から5,300万円増加し、88億5,500万円となる。

武蔵野市土地開発公社は都市基盤や公共施設の整備拡充のために、「公有地の拡大の推進に関する法律」により事業用地を先行取得している。その財源を確保するため、金融機関から資金の借入を行っている。



※平成27年度までは実績額、平成28・29年度は見込額である。

### 借入金の残高見込み

(単位：千円)

区分	27年度末残高	28年度末残高 見込み	29年度末残高 見込み	29年度増減 見込み
一般会計	17,235,129	17,244,873	15,966,263	△1,278,610
下水道事業会計	8,074,103	8,801,746	8,855,111	53,365
土地開発公社	8,283,259	8,116,297	8,027,329	△88,968
合計	33,592,491	34,162,916	32,848,703	△1,314,213

## 5 複数年度にわたる建設事業

※平成30年度以降の予定額は現時点での概算額

### ◎市民文化会館改修事業 (市民活動推進課)

(単位：千円)

総事業費		4,230,519			
年 度		27 決算額	28 決算見込額	29 予算額	計
事業費		913,600	3,306,480	10,439	4,230,519
内 訳	委託料	500	127,676	10,439	138,615
	工事請負費	913,100	3,178,804		4,091,904
	備品購入費				
	土地購入費				
	その他				
上 記 の 財 源	国庫支出金		48,220		48,220
	都支出金	182,000	169,489		351,489
	市 債	246,000	900,000		1,146,000
	基金繰入金	400,000	2,000,000		2,400,000
	一般財源	85,600	188,771	10,439	284,810

※国庫支出金は社会資本整備総合交付金、都支出金は市町村総合交付金、障害者包括補助事業費等補助金

### ◎武蔵野クリーンセンター施設整備事業 (クリーンセンター)

(単位：千円)

総事業費		11,124,687				
年 度		25~27 決算額	28 決算見込額	29 予算額	30以降 予定額	計
事業費		5,524,774	4,751,788	142,585	705,540	11,124,687
内 訳	委託料					
	工事請負費	5,524,774	4,751,788	142,585	705,540	11,124,687
	備品購入費					
	土地購入費					
	その他					
上 記 の 財 源	国庫支出金	1,964,991	1,414,754			3,379,745
	都支出金					
	市 債	1,021,200	804,000			1,825,200
	基金繰入金	1,703,000	680,000	100,000	700,000	3,183,000
	一般財源	835,583	1,853,034	42,585	5,540	2,736,742

※国庫支出金は循環型社会形成推進交付金

◎クリーンセンター解体工事  
(クリーンセンター)

(単位：千円)

総事業費		1,187,990		
年 度	28 決算見込額	29 予算額	30 予定額	計
事業費	239,509	500,480	448,001	1,187,990
内 訳	委託料			
	工事請負費	239,509	500,480	448,001
	備品購入費			
	土地購入費			
	その他			
上 記 の 財 源	国庫支出金	16,200	166,826	95,922
	都支出金			
	市 債			
	基金繰入金			
	一般財源	223,309	333,654	352,079

※国庫支出金は循環型社会形成推進交付金

◎消防団詰所改築工事  
(防災課)

(単位：千円)

総事業費		93,979		
年 度	29 予算額	30 予定額	計	
事業費	50,379	43,600	93,979	
内 訳	委託料			
	工事請負費	50,379	43,600	93,979
	備品購入費			
	土地購入費			
	その他			
上 記 の 財 源	国庫支出金			
	都支出金			
	市 債			
	基金繰入金			
	一般財源	50,379	43,600	93,979

◎大野田小学校校舎増築事業  
(教育企画課)

(単位：千円)

総事業費		146,250		
年 度		28 決算見込額	29 予算額	計
事業費		59,121	87,129	146,250
内 訳	委託料	2,521	2,033	4,554
	工事請負費	56,600	85,096	141,696
	備品購入費			
	土地購入費			
	その他			
上 記 の 財 源	国庫支出金			
	都支出金			
	市 債			
	基金繰入金			
	一般財源	59,121	87,129	146,250

※平成28年度決算見込額には、繰越明許費の見込額56,600千円を含む。

◎旧桜堤小学校校舎等解体工事  
(教育企画課)

(単位：千円)

総事業費		183,330		
年 度		28 決算見込額	29 予算額	計
事業費		73,300	110,030	183,330
内 訳	委託料			
	工事請負費	73,300	110,030	183,330
	備品購入費			
	土地購入費			
	その他			
上 記 の 財 源	国庫支出金			
	都支出金			
	市 債			
	基金繰入金			
	一般財源	73,300	110,030	183,330



## 6 特徴ある事業

### 目 次

○ 市制施行70周年記念事業	21
○ オリンピック・パラリンピックに向けて	23
<b>I 健康・福祉</b>	
○ 誰もが地域で安心して暮らすために	25
<b>II 子ども・教育</b>	
○ 保育と幼児教育の多様なニーズに対応	29
○ 子どもの健やかな成長を支えて	31
○ 子どもの学びへの支援	32
○ 確かな学力と個性を伸ばす教育	33
<b>III 文化・市民生活</b>	
○ 市民文化の醸成と多様な学び	34
○ 多様性を活かせるコミュニティづくり	35
○ まちの賑わいと活力づくり	36
○ 平和の大切さを次世代へつなぐ	37
○ 災害への備えの拡充	38
○ 安全・安心な住環境	39
<b>IV 緑・環境</b>	
○ 緑豊かなまちを次世代へ	40
○ 「スマートシティむさしの」をめざして	41
○ クリーンセンター新施設の本格稼働	42
<b>V 都市基盤</b>	
○ 水循環都市の構築	43
○ 個性豊かな三駅周辺のまちづくり	44
○ 快適で美しい都市空間の創出	45
<b>VI 行・財政</b>	
○ 市民参加と市政運営	46

**NEW**

… 新規事業

**LEVELUP**

… 拡大・充実事業（予算額に「\*」のある事業は、既存事業の金額も含んでいます。）

# 市制施行70周年記念事業

## ～平和で文化的なまちを未来へ継承する～

市制施行70周年を祝し、これまでの歴史を振り返るとともに、次世代へ誇りをもって継承できる持続可能な都市を創造していくため、さらなる歩み続ける。

NEW

### 1 武蔵野アール・ブリュット2017の開催

予算額 3,034千円

既成の表現法にとらわれずに独自の方法と発想で制作された美術作品(アール・ブリュット)展を開催する。実行委員会方式により事業の企画、運営等を行い、平成29年7月7日から10日に吉祥寺美術館などで作品を展示する。

《総務費 ○市制施行70周年記念事業》

NEW

### 2 「中島飛行機関連資料

予算額 5,244千円

#### 新規収蔵資料展(仮称)」の開催

武蔵野ふるさと歴史館が2年間にわたり開催してきた企画展「戦争と武蔵野」を踏まえ、これまで調査・収集を行ってきた米国国立公文書館における中島飛行機関連の資料と、戦争関連資料の展示等を行う。

《総務費 ○市制施行70周年記念事業》

NEW

### 3 「歴史公文書からひもとく

予算額 1,451千円

#### 市制施行周年行事(仮称)」の開催

武蔵野ふるさと歴史館所蔵の歴史公文書の中から、市制施行周年行事に関する資料を選別・公開するとともに、「武蔵野市地域映像アーカイブ」の資料とリンクした展示を武蔵野プレイスのギャラリーにおいて展開する。

《総務費 ○市制施行70周年記念事業》

NEW

### 4 原付バイクご当地ナンバープレートの交付

予算額 1,332千円

生誕70年を迎えるゾウの「はな子」を象<sup>かたど</sup>ったご当地ナンバープレート(125cc以下の原動機付自転車に限る)を交付することにより、同じく70周年を迎える市制施行を広くPRする。

《総務費 ○市制施行70周年記念事業》





▲前回の市制施行記念式典

## 市制施行70周年記念事業一覧

	事業名	金額（千円）	担当課
1	市制施行70周年記念式典	10,363	企画調整課 ☎0422-60-1801
2	市政功労者交歓会等	2,818	秘書広報課 ☎0422-60-1800
3	「散歩の達人」の発行	4,000	秘書広報課 ☎0422-60-1804
4	原付バイクご当地ナンバープレートの交付	1,332	市民税課 ☎0422-60-1822
5	特別展示「うつりゆく人と風景―所蔵作品と写真から振り返る武蔵野市の70年（仮称）」の開催	1,534	秘書広報課 ☎0422-60-1804 市民活動推進課 ☎0422-60-1831
6	平和の集いの開催	224	市民活動推進課 ☎0422-60-1829
7	武蔵野アール・ブリュット2017の開催	3,034	障害者福祉課 ☎0422-60-1904
8	武蔵野ふるさと歴史館企画展 「中島飛行機関連資料新規収蔵資料展（仮称）」の開催	5,244	生涯学習スポーツ課 武蔵野ふるさと歴史館 ☎0422-53-1811
9	武蔵野ふるさと歴史館企画展 「歴史公文書からひもとく市制施行周年行事（仮称）」の開催	1,451	
10	保健センター 健康フェスティバル（仮称）	2,000	健康課 ☎0422-51-0700
合 計		32,000	千円

# オリンピック・パラリンピックに向けて

東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会、ラグビーワールドカップ2019などの国際大会に向けたスポーツの機運醸成、市民のスポーツ活動への参加支援、障害者スポーツの振興を行う。また、ルーマニアのホストタウンとしてイベントを行う。

## LEVELUP

### 1 ホストタウン事業の推進

予算額 26,571 千円

\*

東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会を展望したホストタウンとしての機運を高めるため、各種啓発事業等を行う。また、武蔵野市と友好都市であるブラショフ市(ルーマニア)の交流のきっかけとなったブラショフ・フィル・ハーモニー交響楽団を招聘し、公演を行う。 <<総務費 ○ホストタウン事業の推進>>

### 2 Sports for All イベントの実施

予算額 7,500 千円

オリンピック・パラリンピック競技等を通じて市のスポーツ振興に寄与するため、「Sports for All」を掲げてスポーツイベントや講演会、パネル展などを開催する。

※Sports for All・・・誰もがスポーツに参加できる環境づくりを目指して、武蔵野市はオリンピック・パラリンピック等国際大会に向けたイベント名を「Sports for All」としました。この言葉は、オリンピック憲章においても奨励されているものです。



▲Sports for All バレーボール

<<総務費 ○東京オリンピック・パラリンピック等国際大会関連事業>>

## NEW

### 3 市の魅力再発見・発信事業

予算額 5,000 千円

市民ワークショップの開催や市内関係団体等との協力を通じて、市民とともに武蔵野市の強みや魅力、海外から見た武蔵野市の良さを再発見し、その魅力を国内・国外へ発信していく。

<<総務費 ○東京オリンピック・パラリンピック等国際大会関連事業>>

## NEW

### 4 運動習慣の定着化促進事業

予算額 3,000 千円

市民の運動習慣の定着に向けたプログラムを作成し、推進するための基礎調査を実施する。

<<総務費 ○東京オリンピック・パラリンピック等国際大会関連事業>>

NEW

## 5 実行委員会の設置

予算額 2,200 千円

東京2020オリンピック・パラリンピック等国際大会に向けて、市内関係団体と連携して実行委員会を設置する。実行委員会が主体となり、市民の力を活かした取り組みにつなげていく。

《総務費 ○東京オリンピック・パラリンピック等国際大会関連事業》

## 6 オリンピック・パラリンピック教育の推進

予算額 5,400 千円

オリンピック・パラリンピック教育推進校として、全市立小中学校においてスポーツに親しみ、オリンピック・パラリンピックの歴史や意義を学ぶとともに、参加国の歴史や文化を学び国際理解を深め、開催都市にふさわしい国際交流につながる取り組みを行う。

《教育費 ○教職員研修・研究》

NEW

## 7 利便性向上および観るスポーツ推進のための陸上競技場改修工事

予算額 384,670 千円

スポーツ振興計画に基づき、陸上競技場のトイレや車いすエリアの改修、チーム室の設置やロッカールーム、ダッグアウト(選手控え室)の改修を行う。バリアフリー化、利用者の利便性向上、「観るスポーツ」の推進を図る。

《教育費 ○体育施設一般管理経費》

NEW

## 8 武蔵野アール・ブリュット2017の開催

予算額 3,034 千円

【再掲 21 ページ参照】

担当: 1	市民部交流事業課	☎0422-60-1806
2・4	総合政策部企画調整課	☎0422-60-1970
	教育部生涯学習スポーツ課	☎0422-60-1903
3・5	総合政策部企画調整課	☎0422-60-1970
6	教育部指導課	☎0422-60-1898
7	教育部生涯学習スポーツ課	☎0422-60-1903
8	健康福祉部障害者福祉課	☎0422-60-1904

# 誰もが地域で安心して暮らすために

誰もが住み慣れた地域で安心して自分らしく健やかに生活が送れるよう、互いを尊重し合い、すべての関係者が連携して、地域ぐるみで支え合う仕組みを作る。

NEW

## 1 旧山崎邸活用事業

～新たな高齢者支援・子育て支援の拠点整備～

予算額 38,476 千円

名誉市民である故山崎倫子氏から遺贈された住居について、1階は北町高齢者センターのデイサービスを拡充し、2階は子育てひろばとして乳幼児親子が集う場を新たに整備する。北町高齢者センター30周年に合わせて開設式典を行う。

《民生費 ○北町高齢者センター管理運営事業》

LEVELUP

## 2 いきいきサロン事業

予算額 8,336 千円 \*

高齢者の社会的孤立感の解消と健康寿命の延伸を図り、住み慣れた地域で在宅生活を送れるよう、団塊世代が75歳以上となる2025年に向けた「まちぐるみの支え合いの仕組みづくり」の一環として、高齢者の集う場を開設・運営する団体に対して支援を行う。

《民生費 ○社会参加促進事業》



▲いきいきサロン

LEVELUP

## 3 シニア支え合いポイント制度の拡充

予算額 3,857 千円 \*

シニア支え合いサポーターが協力施設・団体での活動で獲得したポイントを、希望に応じて5,000円を上限に市内産野菜等引換券やギフト券、市民社協への寄付などの還元を平成29年度より開始する。引き続きサポーターを養成するとともに、協力施設・団体を拡大し、活動機会の充実を図る。

《民生費 ○一般管理経費》 《介護保険事業会計 ○一般介護予防事業費》

## 4 在宅医療・介護連携推進事業

予算額 8,345 千円

医療と介護の両方を必要とする高齢者等が安心して在宅での生活が送れるよう、医療・介護関係者の合同研修や相談・調整を行い、連携を推進する。講演会の開催やリーフレットの配布により、在宅療養に関する市民への普及・啓発を行う。

〈民生費 ○在宅医療・介護連携推進事業〉



▲多職種合同研修会

NEW

## 5 摂食嚥下(えんげ)支援事業

予算額 1,188 千円

高齢者がいつまでも安全に食べられることを支援するため、特養入所者等に対して摂食嚥下機能の評価と、歯科医師や介護職等多職種によるカンファレンスを実施し、高齢者の摂食嚥下機能支援の体制を強化する。

〈民生費 ○高齢者日常生活支援事業〉

NEW

## 6 高齢者・障害者施設の防犯対策の充実

予算額 9,000 千円

特別養護老人ホームや障害者グループホーム等の運営者が施設を安全に管理し、入居者が安心して生活できるよう、防犯カメラなど防犯設備を整備する運営法人に対して経費の一部を補助する。

〈民生費 ○障害者自立支援等給付事業 ○介護保険施設整備事業  
○北町高齢者センター管理運営事業 ○桜堤ケアハウス管理運営事業〉

## 7 第3期健康福祉総合計画(個別計画)の策定

予算額 25,848 千円

平成28年度に実施した各種実態調査等の結果を踏まえ、第3期健康福祉総合計画・地域福祉計画、高齢者福祉計画・第7期介護保険事業計画、障害者計画・第5期障害福祉計画、健康推進計画・食育推進計画を策定する。

〈民生費 ○一般管理経費 衛生費 ○一般管理経費〉

担当:	1・2・5	健康福祉部高齢者支援課	☎0422-60-1940
	3・4	健康福祉部地域支援課	☎0422-60-1941
	6	健康福祉部高齢者支援課	☎0422-60-1940
		健康福祉部障害者福祉課	☎0422-60-1904
	7	健康福祉部地域支援課	☎0422-60-1941
		健康福祉部高齢者支援課	☎0422-60-1940
		健康福祉部障害者福祉課	☎0422-60-1904
		健康福祉部健康課	☎0422-51-0700



NEW

## 8 障害者支援施設の開設支援

吉祥寺北町5丁目（現在の吉祥寺北町放置自転車保管場所）に障害者支援施設を建設する社会福祉法人武蔵野に対して、建設費の補助・建設用地の貸付などによる支援を行う。ショートステイを含む定員40名規模の入所施設として、平成30年度末に開所予定。

《総務費 ○普通財産の維持管理》  
《民生費 ○社会福祉法人武蔵野関係事業》

予算額 432,060 千円



LEVELUP

## 9 発達障害者への支援の充実

成人期の発達障害者への支援体制を充実するため、発達障害者の日中一時支援を行っている事業所に相談支援員を配置し、当事者の相談支援の充実や家族への支援を行う。

《民生費 ○地域生活支援事業》

予算額 6,310 千円



▲窓口での相談支援

NEW

## 10 精神障害者グループホームの開設支援

誰もが住み慣れた地域で生活を送るため、精神障害者グループホームを開設する事業者に対して、開設準備金を助成する制度を新設する。

予算額 3,872 千円

《民生費 ○障害者自立支援給付事業》

LEVELUP

### 11 妊娠から子育て期の切れ目のない支援

予算額 223,425 千円 \*

子ども一人ひとりが健やかに成長することを目的に、保健師などの専門職がチームを組んで妊産婦とその家族の状況を継続的に把握し、必要に応じて関係機関と協力しながら、妊娠から子育て期の切れ目のないきめ細かな支援を実施し、母子保健事業の充実を図る。

《衛生費 ○一般管理経費 ○母子保健事業 ○保健センターの管理運営》



### 12 がん検診等事業の推進

予算額 137,928 千円

あらゆる世代の市民が健康に過ごせるよう、平成27年度から開始した土曜日のがん検診を引き続き実施することにより、受診者の利便性、受診率の向上を図り、がんの早期発見を目指す。

《衛生費 ○老・成人保健事業》



### 13 第3期特定健康診査等実施計画の策定

予算額 3,000 千円

特定健康診査・特定保健指導の受診率・実施率の向上に取り組み、国民健康保険加入者の生活習慣病の減少や健康の保持増進を図るため、第3期特定健康診査等実施計画を策定する。

《国民健康保険事業会計 ○健康保持増進事業》

担当：8～10 健康福祉部障害者福祉課 ☎0422-60-1904  
11・12 健康福祉部健康課 ☎0422-51-0700  
13 市民部保険課 ☎0422-60-1834

# 保育と幼児教育の多様なニーズに対応

安心して子どもを育てられる地域社会を目指し、幼児期の教育の充実と保育園の待機児童の解消を目指す。

## LEVELUP

### 1 保育の質の確保と保育定員拡充への取り組み

#### (1) 平成30年4月 認可保育所5園の新規開設

予算額 828,471千円

保育ニーズの高まりに伴い、保育施設の利用希望者は今後も増え続けることが予想される。平成30年4月の待機児童解消に向けて、市の所有地の活用も含め、認可保育所5園の新設を目指す。

#### (2) 平成30年4月 認証保育所3園の新規開設

予算額 90,000千円

更なる保育施設定員枠の拡充と、13時間開所等を望む就労家庭などの多様なニーズに対応するため、認証保育所3園の新設を目指す。



▲平成29年4月開所 キッズガーデン武蔵野関前 増築棟のイメージ

#### (3) 認可外保育施設入所児童保育助成金制度の拡充

予算額 140,992千円 \*

認可外保育施設に子どもが入所している保護者を対象に、認可保育所の保育料との差額を助成し、子育て世帯の負担軽減を図る(住民税課税所得割額によって上限あり)。平成29年度は支給対象者の情報をシステム化して、支給回数を増やすとともに、多子世帯への支給の拡充を図る。



(4) 居宅訪問型保育事業の実施

予算額 5,865 千円

障害等により集団保育が困難な場合でも保育が可能となるよう、乳幼児の世帯へ保育士や看護師等を自宅へ派遣する居宅訪問型の保育事業を行う。

(5) 保育士等人材の確保および定着  
に向けた取組みへの支援

予算額 192,850 千円 \*

キャリアアップに向けた取組みや従事職員に対する宿舍借上げを行っている事業者に対して支援していくことにより、保育人材の確保、定着および離職防止を図る。

(6) 保育コンシェルジュの増員

予算額 6,586 千円 \*

一人ひとりに寄り添ったきめ細やかな入所案内、相談、情報提供を行い、子育て世帯の不安を和らげるため、保育コンシェルジュを増員し、窓口体制を強化する。



▲窓口の相談

◀民生費 ○一般管理経費 ○認可外保育施設助成事業 ○保育所等運営委託・給付事業▶

LEVELUP

2 私立幼稚園預かり保育拡充事業

予算額 13,956 千円 \*

長時間保育を必要とする家庭も幼稚園を利用しやすくするため、夏休み等長期休暇中を含め概ね年間250日、在園児の預かり保育を実施する幼稚園(市内3幼稚園)に対して、拡充に要する経費を補助する。

◀総務費 ○私立幼稚園等助成事業▶

担当: 子ども家庭部子ども育成課 ☎0422-60-1854

# 子どもの健やかな成長を支えて

地域社会全体で子ども・子育てを支援し、全ての子どもが健やかに育ち、子育て家庭が安心して子どもを育てられるための施策を推進する。

NEW

## 1 ファミリー・サポート・センター事業の実施

予算額 12,560 千円

共助の仕組みを活かして、多様な保育に応えるため、保育施設への送迎や子どもの預かりなどのサポートを実施する。

〈民生費 ○子育て支援事業〉

NEW

## 2 子育て情報発信ウェブサイトの構築

予算額 2,860 千円

誰もがいつでも子育てに関する最新の情報を入手し、共有することのできる環境を整備するため、市から子育て家庭に情報を発信するウェブサイトを構築する。

〈民生費 ○子育て支援事業〉

LEVELUP

## 3 放課後等子ども施策事業の推進

予算額 778,744 千円 \*

あそべえ事業・学童クラブ事業を統括する地域こども館館長の配置、学童クラブ指導員の体制の強化により、子どもの見守り・育成環境の充実を図る。

### ① あそべえ事業

学童クラブ事業とともに、武蔵野市子ども協会に運営委託を行い、学童クラブとの連携を密にし、放課後等の見守り体制を強化する。

〈民生費 ○あそべえ事業〉

### ② 学童クラブ事業

長期休業や土曜日などの学校休業日の開所時間を午前8時からに拡大する。正職化による職員の定着化や人材育成の強化、ノウハウの蓄積などにより、児童一人ひとりへの育成を充実する。

〈民生費 ○学童クラブ事業〉



▲あそべえ

NEW

## 4 中高生世代会議(仮称)の試行

予算額 174 千円

次代の担い手である子どもの意見を反映する場として、中高生世代会議(仮称)を大学生などの協力を得ながら試行する。

〈民生費 ○児童対策事業〉

担当： 1・2 子ども家庭部子ども政策課 ☎0422-60-1239  
3 子ども家庭部児童青少年課 ☎0422-60-1853  
4 子ども家庭部子ども政策課 ☎0422-60-1239  
子ども家庭部児童青少年課 ☎0422-60-1853

# 子どもの学びへの支援

家庭の経済的な理由等により学ぶ意欲はあっても通学できない子どもが生じないように、修学に必要な資金を支援していく。また、小中学生の基礎学力向上を図るための学習支援を引き続き行う。

NEW

## 1 高等学校等修学支援

予算額 12,960 千円

国や都の修学支援の拡充に合わせ、奨学金支給事業を再編し、経済的な理由により高等学校等への進学が困難な方への支援として、高等学校等入学準備金および高等学校等修学給付金の制度を開始する。修学に必要な資金の一部を入学前および在学中に支給する。

〈教育費 ○高等学校等修学支援事業〉

LEVELUP

## 2 就学援助費の入学前支給

予算額 3,271 千円

中学校に引き続き、小学校においても学用品費の購入など入学準備に費用がかかる入学前に新入学児童生徒学用品費(入学準備金)を支給することにより、保護者の負担を軽減する。 〈教育費 ○教育振興事業〉



## 3 学習支援事業

予算額 2,434 千円

貧困の連鎖を断ち切ることを目的とし、小学校3～6年生、中学校1～3年生を対象に、基礎学力の向上を目指した補習教室を引き続き実施する。

〈民生費 ○生活困窮者自立支援事業〉



担当: 1・2 教育部教育支援課 ☎0422-60-1900  
3 健康福祉部生活福祉課 ☎0422-60-1254

# 確かな学力と個性を伸ばす教育

ICT機器を活用した教育環境のさらなる整備と、子ども一人ひとりに寄り添った指導・支援などを行い、確かな学力と個性の伸長を目指した教育を推進する。

## LEVELUP

### 1 学習活動でのICT機器の積極的な活用・整備

予算額 287,692 千円

#### ① 無線LAN環境の整備およびタブレットの導入

児童・生徒の学習意欲の向上や分かる授業を目指して、小・中学校に校内無線LAN環境を整備し、全普通学級に教員用タブレットを1台ずつ導入する。また、特別支援教室および難聴通級指導学級に児童・生徒および教員用タブレットを導入する。

#### ② PC教室用機器の更改

パソコンをデスクトップ型からタブレット(各校41台)に更新し、PC教室だけでなく普通教室においても活用することができる環境を整備することでICT利活用授業の推進を図る。

《教育費 ○情報教育指導》



▲タブレットを活用した授業

## LEVELUP

### 2 地域の中で推進する特別支援教育

予算額 89,760 千円

#### ① 第三小学校知的障害学級の開設

知的障害学級の児童数の増加に対応するとともに、地域の中で児童の成長を支えるため、平成29年4月から第三小学校に知的障害学級「ひまわり学級」を開設する。

#### ② 小学校全校で特別支援教室を開設

発達障害等のある児童への支援充実のため、他校に通級する形態を変更し、在籍校において個々の教育的ニーズに応じた指導をする特別支援教室を平成29年4月から開設する。

《教育費 ○特別支援学級費》



▲特別支援教室の授業の様子

### 3 小中一貫教育の検討

予算額 961 千円

武蔵野市教育委員会の教育目標などで目指す学校教育の質の向上を図るため、これまで教育委員会内部で検討してきた小中一貫教育実施の可能性について、外部委員で構成する委員会において検討する。

《教育費 ○一般管理経費》

担当: 1 教育部指導課 ☎0422-60-1253  
2 教育部教育支援課 ☎0422-60-1908  
3 教育部教育企画課 ☎0422-60-1895

# 市民文化の醸成と多様な学び

市民の多様な学びの場をつくり、市民参加と活動を支援していく。また、文化振興基本方針（仮称）の策定を開始する。

## LEVELUP

### 1 文化振興基本方針(仮称)策定

予算額 5,514 千円

文化振興および文化の波及効果を活かした地域の持続的な発展を目指すため、本市における文化施策を体系化し、施設整備計画を含めた方向性を示す文化振興基本方針(仮称)を平成29年度、30年度の2カ年をかけて策定する。

《総務費 ○文化振興基本方針の策定》

## LEVELUP

### 2 市民文化会館リニューアルオープンと 国際オルガンコンクールの開催

予算額 7,668 千円

舞台特殊設備の更新、客席の改修、エスカレーターの設置、トイレの改修、耐震性強化などの改修を経て、リニューアルオープンを迎える。見学会、ワークショップや記念コンサートを行う。

また、国内外の優秀なオルガン演奏家を見出し、その育成と国際交流の推進を目的に第8回国際オルガンコンクールを開催する。9月に第1・2次予選を経て本選を実施する。

《総務費 ○市民文化会館の管理運営》

オルガンコンクール ▶



## LEVELUP

### 3 吉祥寺図書館リニューアル

予算額 419,195 千円

ニーズの高い蔵書および閲覧環境の充実やICT活用により様々な世代に対するサービスの質的・量的向上を図るため、吉祥寺図書館リニューアル計画に基づき、平成29年度に改修工事を行い、平成30年4月に開館する。

《教育費 ○図書館一般管理経費》



▲吉祥寺図書館

### 4 むさしのサイエンスフェスタの開催

予算額 2,521 千円

小中学生が身近な実験や観察等を通じて理科や科学の不思議さ、面白さを体験することで、興味を深め、学習意欲の向上を図る。教師や地域の方および団体、大学や企業、土曜学校サイエンスクラブ参加者等が様々な実験・体験ブースを出展する理科・科学実験の総合イベントを開催する。

《教育費 ○学級・講座開催事業》

担当：1・2 市民部市民活動推進課 ☎0422-60-1831  
3 教育部図書館 ☎0422-51-5145  
4 教育部生涯学習スポーツ課 ☎0422-60-1902



# 多様性を活かせるコミュニティづくり

誰もが利用しやすいコミュニティセンターとするため、バリアフリー化を図る。また、市民会館へ移転した男女平等推進センター「ヒューマンあい」において、男女平等社会を実現するための各種事業を行う。

## LEVELUP

### 1 コミュニティ活動の推進

～コミュニティ未来塾むさしのの講座開催、バリアフリー化等～

予算額 521,373 千円 \*

市民によるコミュニティづくりが活発に行われるよう、16のコミュニティ協議会によるコミュニティセンターの管理運営を支援し、利用者の安全確保のため窓口2名体制を図る。コミュニティセンターのバリアフリー化をさらに進めるため、御殿山コミュニティセンターへのエレベーター設置に向けた設計を行う。また、「コミュニティ未来塾むさしの」として地域でのつながりづくりのノウハウを学ぶ連続講座を引き続き開催する。

《総務費 ○コミュニティセンターの管理運営・コミュニティ活動》



▲コミセンでのさまざまな活動

### 2 男女平等施策の推進

予算額 22,195 千円

男女平等の推進拠点である男女平等推進センター「ヒューマンあい」において、第三次男女共同参画計画に基づき、各種講座の開催、情報収集・発信、団体支援を行うほか、相談事業を実施する。また、男女平等の推進に関する条例に基づき、市民とともに施策を総合的・計画的に推進していく。

《総務費 ○男女平等推進施策事業》

担当: 1 市民部市民活動推進課 ☎0422-60-1830  
2 市民部市民活動推進課  
(男女平等推進センター) ☎0422-37-3410

# まちの賑わいと活力づくり

まちの様々な魅力や独自性をさらに展開し、多くの方がまち歩きを楽しめるようおもてなしの対応を進めていく。まちの活力を支えるために創業支援を行っていく。

NEW

## 1 井の頭恩賜公園開園100周年記念事業

予算額 9,680 千円

平成29年5月に開園100周年を迎える井の頭恩賜公園を祝して、記念イベントを実施・支援する。

- ・5月3日「武蔵野の日」記念イベントの実施
- ・5月3、5日 ランニングイベント、コンサート、ドッグイベント、トークショーなどの開催支援
- ・井の頭公園100周年記念講演会

《商工費 ○観光振興事業》《土木費 ○一般管理経費、緑化推進事業》《教育費 ○武蔵野ふるさと歴史館の管理運営》

NEW

## 2 吉祥寺「はな子」像の披露

予算額 1,000 千円

井の頭自然文化園のアジアゾウ「はな子」の像を吉祥寺駅北口駅前広場に設置するため、吉祥寺「はな子」像設置実行委員会において募金を呼びかけ制作された銅像が市に寄贈されることから、5月5日に行われる銅像のお披露目に対して支援を行う。

《商工費 ○観光振興事業》



▲アジアゾウのはな子

## 3 観光振興事業

予算額 79,704 千円

武蔵野市観光機構と連携し、都市観光を推進する。観光機構のホームページの改修や案内マップなどにより、外国人観光客への対応を引き続き強化していく。

《商工費 ○観光振興事業》

## 4 創業支援

予算額 17,123 千円

むさしの創業支援コーナーにおいて創業希望者への情報提供、相談受付等を行うとともに、市内の創業支援機関の連携の拠点として継続的な支援を実施する。また、民間創業支援施設の運営に対して補助を行い、市内での創業へつなげていく。

《商工費 ○商工振興事業》

担当：1	市民部生活経済課	☎0422-60-1832
	環境部緑のまち推進課	☎0422-60-1863
	教育部生涯学習スポーツ課	
	(武蔵野ふるさと歴史館)	☎0422-53-1811
2~4	市民部生活経済課	☎0422-60-1832

# 平和の大切さを次世代へつなぐ

戦争体験の伝承などによる平和啓発事業や、戦争関連資料の収集・記録・展示を行い、市民とともに戦争の悲惨さや平和の尊さを広く伝えていく。

## 1 平和啓発事業

予算額 5,536 千円

戦争の悲惨さや平和の尊さを次世代に伝えていくため、平和啓発事業を市民の実行委員会とともに推進する。平和の日のイベントの一環として、市立はらっぱむさしのにおいて平和の集いを行う。また、戦争体験者からの聞き取り調査を引き続き実施していく。憲法への関心を広め、認識を深められるよう、5月に憲法月間記念行事を行う。8月には中高生を青少年平和交流派遣団として長崎市へ派遣する。

《総務費 ○平和・憲法啓発事業 ○市制施行70周年記念事業》



▲青少年平和交流派遣団

NEW

## 2 「中島飛行機関連資料

### 新規収蔵資料展(仮称)」の開催

【再掲 21 ページ参照】

予算額 5,244千円

《総務費 ○市制施行70周年記念事業》

担当: 1 市民部市民活動推進課 ☎0422-60-1829  
2 教育部生涯学習スポーツ課  
(武蔵野ふるさと歴史館) ☎0422-53-1811



# 災害への備えの拡充

災害時に備えて必要な整備を行い、市民の生命、財産を守る防災・減災対策を進める。

## 1 非構造部材(特定天井)耐震化事業

予算額 411,299 千円

施設利用者の安全安心のために特定天井(天井高6m超かつ面積200㎡以上の吊り天井)について、耐震化工事を行う。

### ① 小中学校

・平成29年度工事実施 第三小学校第2体育館、桜野小学校体育館、第二中学校体育館

### ② 総合体育館

・平成29年度工事実施 メインアリーナ・サブアリーナ

《教育費 ○校舎等施設維持管理 ○体育施設一般管理経費》

NEW

## 2 消防団第4分団詰所の改築

予算額 63,250 千円

消防活動体制の充実・強化を図るため、消防団第4分団詰所を改築する。

(仮設工事:平成29年7月から/本設工事:平成29年12月から)

《消防費 ○消防施設維持管理》

LEVELUP

## 3 災害対策用器具機材、備蓄食糧の充実

予算額 32,758 千円

- ・緊急医療救護所の機能を強化するため、エアーテントとガス発電機を整備する。
- ・避難所に、簡易トイレ、避難行動要支援者の在宅避難用の飲料水袋、アレルギー対応の食糧を新たに整備するとともに、備蓄食数も追加する。また、蓄電式のハイブリッドLED照明を試行的に導入する。
- ・帰宅困難者の民間一時滞在施設へ、備蓄品(水、クラッカー、簡易トイレ、アルミックシート)を新たに整備する。



▲備蓄食糧の保管

《消防費 ○災害対策用器具機材備蓄品整備》

## 4 配水管網整備の推進

予算額 302,568 千円

災害時にも安全で安定した給水の確保などができるように、配水管の新設や老朽管の更新などを行い、配水管路の耐震化を推進する。

《水道事業会計》

担当: 1	教育部教育企画課	☎0422-60-1895
	教育部生涯学習スポーツ課	☎0422-60-1903
2・3	防災安全部防災課	☎0422-60-1821
4	水道部工務課	☎0422-52-0735

# 安全・安心な住環境

民間住宅等の耐震化助成を都内トップレベルに拡充し、耐震化を促進していく。また、防災・衛生・景観等の面から社会問題となっている空き家の予防・利活用対策を進める。

## LEVELUP

### 1 民間住宅等耐震化支援事業

予算額 108,907 千円

安全で安心なまちづくりを進めるため、支援制度を拡充し、住宅やマンションの耐震化に要する費用の一部助成や専門家の派遣による支援を行う。平成32年度末までに住宅の耐震化率95%の達成を目指す。また、住宅のみならず事業系建築物の耐震診断や、商業地域等における事業系建築物の耐震化に要する費用の一部を助成する。

《土木費 ○住宅対策事業》

### 2 緊急輸送道路沿道建築物耐震化促進事業

予算額 499,111 千円

震災時に沿道建築物の倒壊による道路閉塞を防ぎ、救急救命、消火活動、物資の輸送等が支障なく行えるように、東京都と連携を図りながら耐震化(補強設計・耐震改修)に要する費用の一部を助成する。平成32年度末までに特定緊急輸送道路沿道建築物の耐震化率95%の達成を目指す。

《土木費 ○住宅対策事業》



▲地震による被害の様子  
(出典(財)消防科学総合センター)

### 3 分譲マンション管理・再生等支援事業

予算額 1,103 千円

分譲マンションの再生(建替え又は改修)に向けた検討に要する費用の一部を助成する。また、管理組合等に専門家を派遣し、分譲マンションの適切な維持管理のための支援を行い、管理不全を未然に防止することで、市街地住環境を良好に保つ。

《土木費 ○住宅対策事業》

## NEW

### 4 空き家対策の実施

予算額 20,409 千円

空き家・管理不全住宅等の実態調査を行い、空き家等対策協議会(仮称)を立ち上げ、管理が不十分な空き家の予防、適正管理・利活用を含めた総合的な対策計画を策定する。

《土木費 ○住宅対策事業》

担当： 都市整備部住宅対策課 ☎0422-60-1905

# 緑豊かなまちを次世代へ

市民の共有の財産である緑を次世代へ継承するため、公園や緑地などの緑の拠点を整備する。また、生態系に配慮した水辺空間の保全・再生、水環境保全の啓発を行う。

## 1 緑と水のネットワーク事業

予算額 587,990 千円

### ①公園等建設事業

グリーンパーク緑地の拡張や桜橋公園の改修とともに、公園施設長寿命化計画により公園施設の更新等を実施する。また、街路樹の保全工事を行う。

### ②千川上水整備事業

緑と水のネットワークの基軸である千川上水を「親水や身近な自然とのふれあいの場」として、より魅力のある水辺空間へ整備する。平成29年度は実施設計および整備工事を行う。

### ③仙川水辺環境整備事業

整備済み区間の維持管理を行いながら、限られた河川維持水の効率的な活用方法を検討する。

◀土木費 ○公園等建設事業 ○仙川水辺環境整備事業▶



▲ゆりのき公園

## 2 水の学校事業

予算額 2,500 千円

身近な水の循環から上下水道の役割、水に関わるまちの歴史など、様々なテーマの講座を催し、水環境の保全などについて市民が考え、自発的な行動につながる支援を行う。

◀下水道事業会計 ○一般管理経費▶



▲水の学校

## 3 緑の基本計画検討委員会設置

予算額 4,525 千円

緑の基本計画を改定するにあたり、緑とオープンスペースの課題について、学識経験者等を交えた専門的見地から検討するため、「緑の基本計画検討委員会」を設置する。

◀土木費 ○一般管理経費▶

担当：1・3 環境部緑のまち推進課 ☎0422-60-1863  
2 環境部下水道課 ☎0422-60-1914

# 「スマートシティむさしの」をめざして

市民・事業者・行政（市）等の各主体による環境に関する取り組みや啓発活動を一層進めるとともに、各主体が一体となって省エネ・創エネ等を推進し、環境に配慮した生活への転換を促していく。

## LEVELUP

### 1 エネルギー地産地消都市の構築

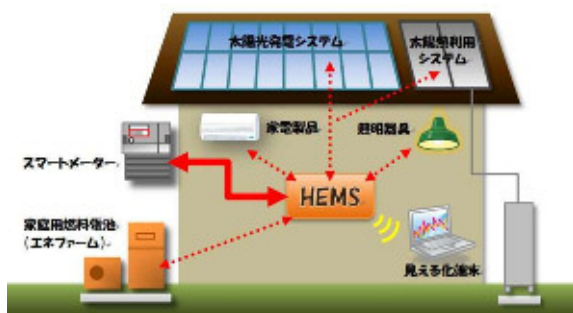
予算額 20,900 千円

#### ① 効率的なエネルギー活用推進助成事業

市域の総エネルギー使用量を削減するため、住宅用のエネルギーマネジメント・省エネ・創エネ機器の設置費用の一部を助成する。



▲各家庭から回収した食用油



▲イメージ図

#### ② 武蔵野油田事業

市民の環境配慮への動き・関心を促すことと、新しい都市型のエネルギー地産地消モデルを構築することを目的とし、家庭から使用済み・期限切れ食用油を回収する。

#### ③ 太陽光発電システムの設置可能性および点検調査

平成19年度以前に市内公共施設へ設置した太陽光発電設備についての性能点検を実施し、適正な維持管理を行う。また、未設置の公共施設への設置可能性調査を実施する。

#### ④ 公民連携による環境設備普及の研究

市民・事業者・行政等の出資するファンド等の活用可能性研究を行い、公民連携で環境設備の普及を図るしくみを検討する。

#### ⑤ エネルギー地産地消の啓発

「スマートシティむさしの」を効果的にPRするために、低炭素社会実現へ向けた市の取り組みを体系化したうえでまとめ、自治体交流や市のイベント等で配布するための冊子を作成する。

《衛生費 ○環境対策推進事業》

### 2 環境啓発施設の整備検討

予算額 5,475 千円

クリーンセンターの既存施設を有効活用した環境啓発施設「エコプラザ(仮称)」の開設を目指す。活用方法や運営形態等について全市的な議論を行うほか、環境や施設整備への関心を高めるためのイベント等を実施する。

《衛生費 ○環境対策推進事業》

担当： 環境部環境政策課

☎0422-60-1841



# クリーンセンター新施設の本格稼働

武蔵野クリーンセンター新施設は、平成28年12月からごみの試運転焼却を開始した。平成29年4月からは本格稼働し、安全で効率的なごみ処理とエネルギーを活用した循環型社会を目指す。

## 1 武蔵野クリーンセンター建設事業

予算額 679,527 千円

新施設の本格稼働に伴い、4月1日に落成式を開催し、今後20年間、事業者に運営を委託する。平成28年度末より開始した旧施設の解体工事を引き続き安全に進めていく。

〈衛生費 ○武蔵野クリーンセンター建設事業〉



▲解体する旧施設(左側)と本格稼働する新施設(右側)

## 2 武蔵野クリーンセンター施設・周辺整備事業

予算額 3,855 千円

施設・周辺整備協議会や地域住民などの意見を踏まえながら、引き続き施設・周辺整備の検討を進め、新施設を核とした周辺地域のより良いまちづくりを実現する。

〈衛生費 ○武蔵野クリーンセンター建設事業〉

## 3 クリーンセンター新施設からの熱源活用

削減額 225,395 千円

クリーンセンター新施設に導入したごみ発電およびガスコージェネレーション設備は、クリーンセンター内の電気を確保する他、市役所、総合体育館などに電気および蒸気を供給し、さらに歳入確保を図るため、余剰電力を電力会社に売電する。このことにより、従来の電気料金などを大幅に削減する。

〈衛生費 ○武蔵野クリーンセンターの管理運営〉

## 4 ごみ収集総合的検討事業

予算額 13,321 千円

平成28年度の「ごみ収集の在り方等検討委員会」での検討結果をもとに、ごみの収集頻度や分別区分の変更についての具体案をまとめる。

〈衛生費 ○ごみ減量と資源化推進事業〉

担当: 1・2・3 環境部クリーンセンター ☎0422-54-1221  
4 環境部ごみ総合対策課 ☎0422-60-1802

# 水循環都市の構築

未処理下水の河川への流出抑制、都市型水害の軽減、地下水の保全などを目的に、雨水浸透施設などの設置を進める。また、老朽化した管きよの長寿命化を図る。

## 1 浸水対策および地下水への涵養

予算額 247,350 千円

近年増大しているゲリラ豪雨による都市型水害の軽減を図り、地下水その他自然環境の保全および回復を目指す。

- ① 千川小学校および市道第135号線(桜堤地区)に雨水貯留浸透施設を設置する。
- ② 雨水浸透柵や雨水タンクなどの設置に要する費用の一部を助成する。
- ③ 透水性舗装工事(市道第135号線、市道第100号線)および道路雨水ます浸透化工事(市道第67号線)を行う。



▲雨水貯留浸透施設

《下水道事業会計 ○一般管理経費 ○公共下水道建設事業》  
《土木費 ○環境舗装事業》

## 2 臭気抑制対策助成事業

予算額 13,500 千円

オリンピック・パラリンピックに向けて、吉祥寺駅周辺等における臭気の解消のため、発生原因であるビルピットの改修等に要する費用の一部を助成する。

《下水道事業会計 ○一般管理経費》

## 3 女子大通り幹線管きよ更生工事

予算額 280,843 千円

本市の広範囲の処理区を受け持つ重要な管きよである女子大通り幹線の長寿命化を図る。平成30年度までの完成を目指し、平成29年度は延長約119mを施工する。

《下水道事業会計 ○公共下水道建設事業》

## 4 下水道総合計画の見直し

予算額 8,000 千円

限られた財源の中で安定した下水道サービスを行うため、経営基盤強化のための方策や中長期財政見通しの検討などを行い、下水道総合計画の見直しを実施する。

《下水道事業会計 ○公共下水道建設事業》

NEW

## 5 下水道ストックマネジメント計画策定

予算額 17,064 千円

下水道施設全体を対象に、点検・修繕・改築を一体的に捉えて、計画的かつ効率的に適切な管理を行っていくため、下水道ストックマネジメント計画を2カ年(平成29～30年度)で策定する。

《下水道事業会計 ○公共下水道建設事業》

担当:1	環境部下水道課	☎0422-60-1868
	都市整備部道路課	☎0422-60-1861
2～5	環境部下水道課	☎0422-60-1868

# 個性豊かな三駅周辺のまちづくり

三駅を中心として広がるまちの個性を活かし、さらに魅力を高めていくため、それぞれの特色に応じたまちづくりを進める。

## 1 吉祥寺グランドデザインの改定

予算額 7,120 千円

エリアごとのきめ細かな議論を中心に、これからの吉祥寺ブランドとまちづくりの方向性を定めるために、策定から10年が経過する「吉祥寺グランドデザイン」の改定を2カ年(平成29～30年度)かけて行う。 <<土木費 ○吉祥寺駅周辺整備計画>>



## 2 三鷹駅北口街づくりビジョンの 実現に向けた検討

予算額 6,899 千円

三鷹駅北口街づくりビジョンに基づき、駅周辺の交通体系検討の基礎資料となる交通量調査を実施するとともに、にぎわい創出に向けた社会実験の検討などを進める。 <<土木費 ○一般管理経費>>

## 3 三鷹駅北口周辺の駐輪場再編

予算額 77,509 千円

既存駐輪場の閉鎖に伴い、新たな用地を取得するとともに、民間との連携により駐輪場の確保を図る。

<<土木費 ○自転車対策事業>>

## 4 武蔵境市政センターの移転 ～公民連携による武蔵境駅北口市有地の有効活用～

予算額 86,426 千円

まちの賑わい創出と魅力の向上のため、武蔵境駅北口市有地有効活用事業を進めている。市民サービスの充実のため、新たな施設内に武蔵境市政センターを移転し、現センターは解体・撤去する。

<<総務費 ○市政センターの維持運営>>

担当: 1 都市整備部吉祥寺まちづくり事務所 ☎0422-21-1118  
 2 都市整備部まちづくり推進課 ☎0422-60-1872  
 3 都市整備部交通対策課 ☎0422-60-1860  
 4 総合政策部企画調整課 ☎0422-60-1801  
 市民部市政センター ☎0422-56-3800



# 快適で美しい都市空間の創出

より良い住環境に向けて、調和のとれた都市景観の形成と、歩行者・自転車・自動車のそれぞれが安全で快適な道路空間づくりを行う。

## 1 景観まちづくりの展開

予算額 3,922 千円

景観ガイドラインの公表に伴い、シンポジウムの開催や景観形成の具体的な手法をまとめた市民向け景観まちづくりの手引きの作成、専門家の派遣などにより、市民参加のまちづくりを支援していく。

《土木費 ○一般管理経費》



▲景観まちづくりワークショップ

## 2 景観道路事業

予算額 408,000 千円

良好な都市景観の創出、安全で快適な歩行空間の確保、防災機能の向上を図るため、景観整備路線事業計画(第2次)に基づき、道路・電線共同溝の整備推進を図る。

《土木費 ○景観道路事業》



▲三鷹駅北口の補助幹線道路(市道第293号線)

NEW

## 3 自転車走行環境づくり

予算額 44,324 千円

自転車や歩行者等がより安全に利用できる環境を創出するため、駅周辺部の利用実態を踏まえ、関係機関との協議を経て、路線を整備するとともに、安全教育の充実を図る。 《土木費 ○自転車対策事業》

担当: 1 都市整備部まちづくり推進課 ☎0422-60-1872  
2 都市整備部道路課 ☎0422-60-1861  
3 都市整備部交通対策課 ☎0422-60-1860

# 市民参加と市政運営

市民の利便性を高めるとともに、市民ニーズを的確に市政に反映していくために市民参加のあり方を追究する。

## LEVELUP

### 1 自治基本条例(仮称)の検討

予算額 3,693 千円

自治基本条例(仮称)に関する懇談会や市民ワークショップの開催を通して、市民参加のあり方の追究および市政運営に関する基本的なルールの体系化を進める。

〈総務費 ○企画調整〉

## LEVELUP

### 2 公共施設等総合管理計画の推進

予算額 2,751 千円

公共施設等総合管理計画を幅広く周知し、市民の理解を深め、学校や福祉施設などの類型別の施設整備計画の策定に向けて議論を進めるため、無作為抽出市民ワークショップ等を行う。

〈総務費 ○企画調整〉

## NEW

### 3 住民票・税証明等のコンビニ交付の開始

予算額 16,854 千円

平成29年5月より、全国のコンビニエンスストア店舗にある多機能端末機(マルチコピー機)で、マイナンバーカードを利用した住民票、印鑑証明書、戸籍証明、課税・非課税証明書などの発行を行う。

〈総務費 ○戸籍住民基本台帳事務 ○市民税、軽自動車税等の課税〉

### 4 事務事業見直し・補助金見直し

削減額 471,634 千円

事務事業の見直し、職員定数の適正化、補助金の見直しおよび予算配分の縮減の実施により、4億7163万円の経費削減を行った。(42ページ「クリーンセンター新施設からの熱源活用」による削減額を含む)

担当	1・2	総合政策部企画調整課	☎0422-60-1801
	3	市民部市民課	☎0422-60-1838
		財務部市民税課	☎0422-60-1822
	4	総合政策部企画調整課	☎0422-60-1801
		財務部財政課	☎0422-60-1803